

8. 【2001 年度学会大会・テーマセッションについて】

京都大学 蘭 信三

2001 年村研大会のテーマ・セッションを担当することになりました蘭です。次回のテーマセッションについて簡単に紹介いたします。まず、タイトルですが、「いまあらためて日本農村の構造転換を問うー1980 年代以降を中心として」にいたしました。このテーマは、村研のこれまでの長い歴史のなかで何回も取りあげられてきた、いわば「村研のメイン・テーマ」に属するものと言えましょう。したがって、いまさら何を議論するのか」という批判もあるでしょうが、若手を中心として村研 50 年の蓄積に挑戦していきます。

では、なぜこの主題を選んだのかについてその趣旨を簡単に説明します。20 世紀の日本の農村を振り返ると、1920 年代から 30 年代にかけてその近代農村システムの原型が形成され、農地改革を経てそれが戦後の農村構造にいったんは再編されます。しかし、それも

高度成長下に崩壊しだし、1970年代の農政の転換も相まって、1980年代にその構造転換が決定的になりました。20世紀日本農村の基本構造が崩壊あるいは新たな構造へ向けてその再編が顕著になっていくのが1980年代以降の農村の姿と言えましょう。すなわち、具体的には、高度成長下にはじまった労働力の都市への移動、産業としての農業の衰退、それを担ってきた近代システムとしてのイエやムラの崩壊あるいは再編があげられましょう。さらには、近郊農村の都市化、全般的な兼業化と農業の女性化、山村の過疎化、そして急激な高齢化、すなわち農村・農業の解体化や空洞化とも言える諸現象です。その一方で、新たな農業経営の展開、集落機能の再編、農村女性の活躍、そして都市からの新規移住者や外国人花嫁そして外国人農業研修者といった「多様化」や「国際化」が、日本農村に新たな展開をもたらしているというのが現状ではないでしょうか。

もっとも、農村は、戦後の国家システム（具体的には農政や産業資本や都市）によって規定され、そして次第に世界システムによる影響を強く受けるようになってきました。しかし、当然ながら、農村は、これらの外部の大きな力によってだけでなく、それらに対抗する内部の主体的な対応によって、さらには両者の相互作用によって規定されてきました。産業化や都市化や国際化という大きな奔流のなかで、農村はイエやムラという従来のシステムを捨て去ったり再編したりしてその状況に主体的に対応してきたのです。

では、このような状況において、日本農村の構造転換は、どのような局面において、どのようなプロセスをたどり、そしてどのような原理でもって展開してきたのでしょうか。また、この構造転換によって、日本農村の本質はどのように変化してきたのでしょうか。あるいは、日本農村のどの部分は変化しないで存続しているのか、それは、何故なのか。そして、これまで日本農村が経てきた構造変化と80年代以降の構造転換は質や程度においてどのように異なっているのか。これらの諸点を考察していきたいのです。

最後に、このような問題意識と認識でもって、以下のように部会を構成していきます。まず、蘭が都市化、過疎化、兼業化、女性化、高齢化そして国際化といった諸局面から農村の構造転換を概観します。つぎに、庄内農村をフィールドとする永野由紀子さんがこれまでの学説を踏まえながらもイエの変化と再編を独自の視点から問題提示し、滋賀湖北をフィールドとする藤村美穂さんが幾重にも折り重ねられているムラの諸機能を環境という視点からその根源的な側面を問いただします。また、過疎の進行はイエやムラをどのように直撃しそれを解体あるいは変容させていくのかを、過疎の深化した中国山地や九州山地をフィールドとして高齢者福祉を考察してきた高野和良さんが掘り下げます。そして、最後に、日本農村を史的に分析してきた農業経済学者の玉真之介さんに、80年代に行政が展開してきた農村活性化政策から日本農村の構造転換がどのように相互作用してきたのかを論じてもらいます。

このように、本テーマセッションは、若手研究者を中心として、村研の中心テーマであったイエとムラに徹底的にこだわり、80年代以降の農村の構造転換に迫り、そこから新た

な農村の姿を浮かびあがらせていけるセッションにしたいと考えています。課題は、村研の会員に共通なテーマです。報告者の一方的な報告ではなく、フロアーとの議論を通じて問題点を絞り込んでいきたい所存です。力不足ですが、この1年間精進します。

・セッション・タイトル

いまあらためて日本農村の構造転換を問う－1980年代以降を中心として

・セッションの構成

1. テーマの解題

日本農村の構造転換の概観とその原理－1980年代以降を中心にして

蘭 信三 (京都大学)

2. イエの変化と再編

永野由紀子 (山形大学)

3. ムラの再評価－環境という視点から

藤村美穂 (佐賀大学)

4. 過疎化とイエ・ムラの崩壊、あるいは再編

高野和良 (山口県立大学)

5. 日本農村の構造転換と農村活性化政策

玉真之介 (岩手大学)